

平成 26 年（2014 年）度 第 5 回 理事会議事録

I. 日時：平成 27 年 2 月 5 日(木) 19:00～20:28

II. 場所：神奈川県作業療法士会事務所

III. 理事会定数

出席理事：渡邊、錠内、中西、澤口、福留、奥原、出口、吉本、木村、鈴木(久)、三浦、作田、内山、
計 13 名

委任理事：野々垣、沼田、鈴木（孝）

出席監事：清宮

委任監事：浅井

その他：小峰(広報部：ニュース編集班)，三森（web サイト管理委員会：HP 担当）、
金山・平山・白鳥・井戸川(事務局：書記)

IV. 議長団選任

議長：渡邊会長

副議長：澤口事務局長

議事録署名人：渡邊会長、清宮監事、吉本理事

V. 配布資料

資料 1：事務局

資料 2：財務部／学術部／教育部／広報部／福利部／地域リハビリテーション部／福祉用具委員会
ウェブサイト管理委員会／学会評議委員会

資料 3：47 都道府県委員会 「協定書・委員会規定に関するご意見・ご質問に対する回答」

VI. 回覧資料

「かなりはリハ工学福祉機器フェスティバル 2014 報告」神奈川総合リハビリテーションセンター研究部
「年始のご挨拶」関内新井ホール

VII. 報告・検討事項

1. 事務局（澤口事務局長）

(1) 報告事項

1) 渉外

① 賀詞交換会等への出席

1/14 県放射線技師会（澤口事務局長）

1/16 県栄養士会（錠内副会長）／県臨床検査技師会（中西副会長）

1/21 県病院協会(渡邊会長)

1/22 県看護協会（澤口事務局長）

②県民集会「国民医療を守るための神奈川県総決起大会」主催：神奈川県医療推進会議
日時：平成 27 年 1 月 28 日（水）場所：神奈川県総合医療会館 出席：澤口事務局長*医専連兼任

③医療専門職連合会

a 第 126 回定例理事会

平成 27 年 1 月 29 日 場所：神奈川県 O T 士会事務所出席：澤口事務局長・名古屋事務局次長

b 予算総会

平成 27 年 3 月 24 日（火）場所：横浜市技能文化会館大研修室 802

当会の理事は代議員として総会参加必須。日程調整もしくは委任状の提出を呼び掛ける

講演会「医療と介護の連携（仮）」講師：（有）足柄リハビリテーションサービス 露木氏（P

T）

④神奈川県病院協会「県病院協会第 4 5 号会報への寄稿」（依頼）⇒錠内副会長が対応

2）行政および職能団体関連

①会員派遣依頼

a 相模原市介護認定審査会委員 平成 27 年 4 月 1 日から 2 年間

現職である渡邊誠氏（北里大学）、河村晃依氏を継続して県士会推薦とした

b 相模原市障害支援区分認定審査会委員頼 平成 27 年 4 月 1 日から 2 年間

現職である斎藤和夫氏（淵野辺総合病院）、渡邊誠氏（北里大学）、坂本豊美氏（北里大学）、湯浅まり氏（北里大学）の 4 名を継続して県士会推薦とした

c 小田原市介護認定審査会委員 平成 27 年 4 月 1 日から 2 年間

前任者である佐藤氏、菅原氏、館下氏にて後任者を調整中

d 藤沢市障害支援区分審査会委員 平成 27 年 4 月 1 日から 2 年間

事務局にて調整中

②神奈川県エイズ対策推進協議会「2014 秋のかながわレッドリボン賞」推薦依頼

該当者なしとして報告

3）後援名義使用依頼*理事 ML にて全て承認済み

①第 4 回住宅改修ワークショップ 主催：（一社）神奈川県建築士会 技術支援委員会 福祉部会

平成 27 年 3 月 14 日（土）場所：情報文化センター小会議室

②地域支援事業 講習会「わが町の地域包括ケアシステムを考える～地域支援事業におけるリハ専門職の関わり～」

平成 27 年 2 月 1 日（日）場所：横浜リハビリテーション専門学校 8 階講堂

③第 11 回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム（共催名義使用依頼）

平成 27 年 3 月 15 日（日）場所：神奈川県総合医療会館

④日本医療マネジメント学会第 14 回神奈川支部学術部集会

平成 27 年 3 月 7 日（土）場所：新都市ホール（横浜市そごう横浜店 9 階）

⑤日本関節運動学的アプローチ第 16 回学術集会

平成 27 年 7 月 5 日（日）場所：横浜情報文化センター 6～7 階

4) 他団体より研修会等周知依頼

①南区在宅療養支援ネットワーク会

平成 27 年 1 月 26 日 (月) 会場：一般社団法人南区医師会⇒南区で OT 会員在住の施設に周知

5) OT 協会関連

①47 都道府県委員会キックオフミーティング

平成 27 年 2 月 15 日 (日) 場所：東京都内 出席：錠内副会長

②訪問リハビリテーション地域リーダーにおける「地域ブロック制」会議

議事録を三役及び地域リハ部理事に配信

6) 賛助会員 B 入会申し込みについて

①団体名：「進」リハの集い (OT 有志らの団体) 代表者：青木啓一郎氏 住所：相模原市内

⇒理事 ML にて承認済み

7) 庶務関連

①卒業証書授与式御臨席依頼

3/6 横浜リハビリテーション専門学校

3/13 国際医療福祉大学小田原校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

⇒ 祝電にて対応済み

②会員管理

休会届 7 件を受理し、会長へ稟議。全て承認されたため、それぞれ休会許可を発行した

③事務所管理

県士会会員管理用 PC が使用不可になったため、ハードディスク交換とデータの救出など対応した

④はまっこカード (横浜市施設市民利用システム利用者登録) について

研修会等で会場を横浜市の公共施設を借りる際には事務局のカード使用可

⑤その他

A ゆうあい HD グループ NPO 法人横浜悠藍陸会 就労移行支援事業所「ちいさな種」(新横浜)

事業所のパンフを OT に配布したいとメールがあり、県士会研修会担当等に呼び掛け、配布を行う

(2) 検討事項

1) 後援名義等使用依頼

①第 26 回全国介護老人保健施設大会神奈川大会 (名義使用, 開催支援の助成依頼)

平成 27 年 9 月 2 日(水)~4 日(金) 場所：パシフィコ横浜 ⇒ 名義使用のみ承認

②平成 27 年度 関東甲越地区肢体不自由特別支援学校 PTA 連合会「神奈川大会」(協賛・広告依頼)

平成 27 年 7 月 26 日(日)~27 日(月) 場所：横浜ベイホテル東急 ⇒ 広告・協賛なし

2) OT 協会関連

①47 都道府県委員会 協定書について

意見集約から質問に対しての解答あり。3/4 三役会まで質問を受け付ける
基本的には 4 月 1 日目標に、すべての士会と協定を交わすことを前提としている。

3) 2015 役員選挙及び総会等準備について

- ①立候補定数：理事 組織改編案の検討にて 18 名まで可とする。監事 2 名。顧問 1 名
- ②選挙公示：3 月ニュース発行日とする。会長・副会長・事務局長は理事に含む文面を記載。追記として、定款の抜粋、詳細はネット上に記載ありの文面も記載。立候補〆切は 40 日前である 4 月 22 日。選挙管理委員会より選挙公報を 5 月上旬に発行
- ③総会議案書：予算は来年度の組織改変後決定していくため、議案書は次回理事会にて詰めていく。
総会は 5 月 31 日
- ④選挙管理委員会（5 名）
委員長 片岡直人氏（新戸塚病院）
増子航氏（新戸塚病院）、浅井翔伍氏（新戸塚病院）、木村亮太氏（磯子中央病院）、中村元樹氏（みんなの訪問看護リハビリテーション）⇒理事 ML（H261127～）にて承認済み

4) 組織改編について

以下、三役より提案があった。継続審議となった。

①事務局の整理

②以下、小委員会的役割として細分化

1) 公益事業検討委員会〈特設委員会とする〉

（出された意見）公益を受ける為のものであれば「特設」だが、錠内副会長は「特設的ではなく恒久的な設置」と発言、「常設」ではなく「特設」の方がいいのではないかと。

2) 公益法人化対策委員会〈特設委員会とする〉

3) 認知症関連事業：特化した活動が必要と考えた。

4) その他：地域包括ケア、精神障害対策なども当然組んでいかななくてはならないが、理事会の中で、これまで議論が少なかった。議論を高めることから始めてもいいのではないかと。

②企画調整委員会：三役会に統合

③制度対策部：社会保障制度対策委員会、福祉用具委員会の役割を集約。

④生活行為向上マネジメント推進委員会〈特設〉

⑤代議員制度対策委員会の廃止

⇒以上の提案のあと、「組織について、方向性は変わらず、さらに修正を加え メーリングにて報告していく」と確認された。上記に加え、以下の検討事項も議題として上がった。

名称の統一化、理事の配置（委員、部に各々理事を配置するか。複数理事を配置するか）、分野ごとの人材バンクの検討

2. 財務部（野々垣理事）

(1) 報告事項

- 1) 郵便振替での会費未納者（9 名）の対応について
2 月中に督促案内文と郵便振替用紙を発送予定

- 2) 銀行引落での残高不足，書類不備（26 名）への対応について→事務局にて対応
- 3) 銀行引落の手続きで「お客様控」を事務局へ送付した人（約 300 名）について今年度中に「お客様控」を送り返すよう準備をすすめる

3. 学術部(福留理事)

(1) 報告事項

1) 分野別講習会 身体障害分野

①『いまさらきけない？ 手指の評価・訓練』第 1 回

平成 26 年 12 月 21 日 会場：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

講師：鴻井建三氏（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター）受講者：57 名

②『いまさらきけない？ 手指の評価・訓練』第 2 回

平成 26 年 2 月 15 日 会場：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

講師：鴻井建三氏（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター）受講者：50 名予定

③『高次脳機能障害の基礎～注意障害・前頭葉機能障害編～』

平成 27 年 3 月 1 日 会場：ウィリング横浜 講師：早川裕子氏（横浜市立脳血管医療センター）

受講者：120 名予定

2) 分野別講習会 精神障害分野 (3 回)

①『精神科作業療法の基礎～臨床で役立つ 精神科 OT で必要なスキル』

平成 26 年 9 月 23 日 会場：ウィリング横浜 講師：奥原孝幸氏(昭和大学保健医療学部作業療法学科)

受講者：32 名

②『やってみよう 精神科作業療法におけるフィジカルアセスメント (身体評価)』

平成 26 年 11 月 16 日 会場：藤沢市民会館 第 2 会議室

講師：木村修介氏(新緑訪問看護ステーション長津田) 受講者：38 名

③『あつまれ。精神科 OT の知恵袋』

平成 27 年 3 月 1 日 会場：ウィリング横浜

講師：魚岸実弦氏（横浜舞岡病院），松岡太一氏（福井記念病院）受講者：20 名予定

3) 生涯教育講座 実習指導者養成講座

①『初心者のための実習指導』日程：平成 26 年 12 月 27 日 会場：ウイリング横浜

講師：澤田辰徳氏（イムス板橋リハビリテーション病院），友利幸之介氏（神奈川県立保健福祉大学）

神保洋平氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校） 受講者：90 名

4) 地域リハビリテーション関連者講座『近頃話題となっている生活行為向上マネジメントの基礎』

平成 27 年 3 月 28 日 会場：ウイリング横浜

講師：木村修介氏（新緑訪問看護ステーション長津田） 受講者：60 名予定（定員 120 名）

5) 今年度の全体総括

収入は予算 70 万に対し，現在約 68 万の見積もり．分野別講習会は年 4 回予定していたが，施設，講師との日程調整できず，年 3 回となってしまった．

4. 教育部（奥原理事）

（1）報告事項

1）現職者共通研修

①平成 26 年 11 月 24 日（月）場所：ウイリング横浜

13：00～14：30「保健・医療・福祉と地域支援」木下 剛氏（済生会横浜市東部病院）

受講者：77 名（他県士会員 2 名）

14：45～16：15「日本と世界の作業療法の動向」神保武則氏（北里大学病院）

受講者：74 名（他県士会員 3 名）

②事例報告登録制度に関する研修会

平成 26 年 11 月 24 日（月）場所：ウイリング横浜

10：30～12：00「事例報告登録制度に関して」奥原孝幸氏（昭和大学）

受講者：57 名（他県士会員 7 名）

2）現職者選択研修

①老年期障害の作業療法

平成 27 年 1 月 12 日（月）場所：ウイリング横浜

講師：土井勝幸氏（介護老人保健施設せんだんの丘）、水島眞由美氏（横浜リハビリテーション専門学校）

受講者：79 名（他県士会員 13 名）

3）今後の研修会

①現職者共通研修（事例報告・事例検討）平成 27 年 2 月 22 日（日）場所：ウイリング横浜

②現職者選択研修（身体障害領域）平成 27 年 3 月 8 日（日）場所：ウイリング横浜

（2）審議事項

1）補正予算申請について

1 月末時点での事業費残金 168,877 円。不足が 46,123 円生じている。昨年の予算編成時に減額したため。補正予算申請額 50,000 円 ⇒ 承認

2）SIG 団体承認申請

「神奈川県リハビリテーション研究会」中川翔次氏（神奈川県総合リハビリテーションセンター）、
福留大輔（イムス横浜狩場脳神経外科病院） ＊書類上適切 ⇒ 承認

5. 広報部（出口理事）

（1）報告事項

1）対外広報班の活動予定

①地域リハビリテーションフォーラム：平成 27 年 3 月 15 日場所：労働プラザ（石川町駅）

②相模原市さくら祭り準備：平成 27 年 4 月開催 準備委員会に参加中

③対外広報促進グッズ作成（名入れペットボトルオープナーなど）

* 審議事項として予算について提案があったが、全体の予算を見て総括決算となる

6. 福利部（吉本理事）

(1) 報告事項

- 1) 求人・求職の登録および情報提供
情報を更新した。広報部、WEB サイト管理委員会、事務局と相談し対応済み
- 2) 2014 年度第 2 回職場見学会(精神障害領域編)
場所：曾我病院 日時：2 月 6 日(金)13:45～17:00 講師：佐藤良枝氏
- 3) 新企画 『スポットライト～OT の生き方～』
県士会ニュース 1 月号と、WEB サイトへ第 2 弾掲載した。

7. 地域リハビリテーション部（木村理事）

(1) 報告事項

- 1) 研修会開催
 - ①「ALS コミュニケーション支援講習会」
平成 27 年 3 月 1 日場所：横浜リハビリテーション専門学校
 - ②「訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」平成 27 年 2 月 8 日
 - ③「生活行為向上マネジメント講習会」
平成 27 年 11 月 19 日（水）場所：横浜 YMCA 学院専門学校 講師：金山桂氏
受講者数：会員 43 名，他県 2 名，学生 1 名
 - ④介護予防従事者研修会
平成 27 年 1 月 17 日 - 18 日横浜会場約 230 名参加、2 月 7 日，2 月 15 日小田原会場約 330 名予定
- 2) 建築士会からの事業協力について
今年度は断念したが、今後に向け企画から手伝ってほしいと要望があり
- 3) 神奈川県訪問リハ協議会の報告
 - ①実務者研修会，地域リーダー研修会は開催済み
 - ②来年度の計画として，学会(仮)を開催予定。(平成 28 年 1 月 9 日予定)
 - ③横浜市の地域リハビリテーション活動支援事業のヒアリングあり。
- 4) MTDLP について
平成 27 年度 介護事業にて PT/OT/ST が参加していく。通所リハにて加算対象となる。

8. 福祉用具委員会

(1) 報告事項

- 1) 「自助具をつくろう」
平成 27 年 1 月 17 日(土) 参加 4 名。次回は 1 月 31 日(土)予定
場所：かながわ自助具工房（かながわ県民センター内）
- 2) 「PTOT スキルアップ研修」次年度開催について
研修案内の工夫も行ったが応募者数伸び悩んだ。現在 PT 県士会と共同開催で PT 定員はここ 3 年募集人員オーバーしている。そのため定員数を PT3 : OT1 とし、負担経費が折半であったが参加費率に合わせ負担をしていく旨、PT 士会担当者と打ち合わせ済み。

9. ウェブサイト管理委員会（作田理事）

（1）報告事項、審議事項

特記なし

10. 学会評議委員会（内山理事）

（1）報告事項

1) 第 15 回神奈川県作業療法学会 第 12 回実行委員会報告

査読結果報告を査読者に送り、修正期限を 1 月 27 日とする。(2 件が未確認)

名義後援として、神奈川県、横浜市健康福祉局、川崎市、相模原市、神奈川県医師会、神奈川県社会福祉協議会に依頼。

学会協賛団体：さくらほりきり、湘南 OT 交流

機器展示出展企業・団体：アビリティーズケアネット、伊藤超音波株式会社、インターリハ株式会社、NPO 法人たくみ 21、株式会社エンファシス、株式会社モノ・ウェルビーイング、ダブル技研

（2）審議事項

1) 第 2 回神奈川県臨床作業療法大会

開催日：平成 28 年 7 月 10 日（日）

大会長：遠藤陵晃氏（クローバーホスピタル） ⇒ 承認

以上（文責：井戸川、平山、金山）

会議終了時間 20 時 28 分
次回の理事会開催日時 平成 27 年 3 月 12 日（木）19 時より
開催場所 一般社団法人神奈川県作業療法士会事務所
〒231-0011
神奈川県横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301
TEL/FAX 045-663-5997

| | | | |
|--------|----|------|---|
| 議事録署名人 | 議長 | 渡邊慎一 | 印 |
| | 監事 | 清宮良昭 | 印 |
| | 理事 | 吉本雅一 | 印 |